



八代小学校では、3～6年生が学年を縦断し、3人のグループを作ります。3人はそれぞれ、「刈る人」、「稲を整える人」、「藁で束ねる人」の役割を担い、ローテーションしながら稲刈りを進めます。藁で束ねることに苦戦していた3年生も上級生や船川さん・坂斉さんご指導のもと、終わるころにはしっかりと束ねられていました。



インタビュー ＊ ほ場提供の船川由孝さん

「ほ場を提供して12年ぐらいかな？校長先生から農業体験できないかな？と相談されて引き受けたのが始まりです。」と船川さん。

「今は農業も機械化されているので手でやることがないんですよ！私たちが子どものころは田んぼに入って育ててきているから、八代地区の子どもたちには田植えや稲刈りは体験してもらいたいです。特に田植えの時の水の感触や土の感触は感じてもらいたいですね。そして、お米がどうやって食べられるようになるかを学んでほしいと思っています。」と話してくれました。



松島菜那さん
(6年生)

楽しみながらも、稲刈りの大切さを知ることができました。いつも食べているお米を、たくさんの人たちが支えてくれているんだと感じました。

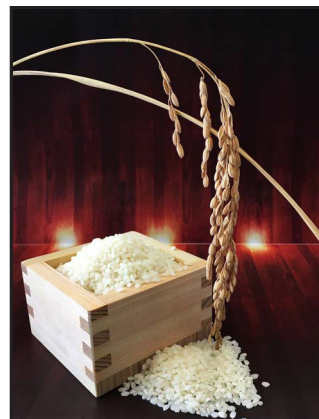
みんなと協力して、すべての役割を体験できて、よい思い出作りができました。

友だちと協力し、それぞれの役割分担の中には難しさもありましたが、とても楽しかったです。

稲刈りの場を提供してくれた船川さんには、感謝の気持ちでいっぱいです。久しぶりに、ほかの学年のみんなと一緒に学ぶことができてよかったです。



小林 元くん
(6年生)



＼たべておくんない！／

・ ・ 米どころ幸手の「幸手産特別栽培米」 ・ ・

幸手ブランドのリード役でもある「幸手産特別栽培米」。農家のみなさんが減農薬・減化学肥料により丹精込めて育てた、体と環境にやさしい、とてもおいしいお米です。

冷めてもおいしいので、お弁当にもおすすめです。ご家庭の食卓や大切な人への贈り物に「幸手産特別栽培米コシヒカリ」いかがですか？

問合せ 農業振興課 ☎ (43) 1111 内線 535

※「たべておくんない！（幸手弁）」は、「どうぞおたべください！」です。

米どころ幸手の稲刈り体験

もっと！
刈りた～い！

－ 9月11日(金)に吉田小学校、29日(火)に八代小学校で、稲刈り体験が行われました －



吉田小学校では、1・6年生、2～4年生、そして総合的な学習の時間に稲作について学んだ5年生の3グループに分かれ順番に刈っていきます。

6年生は1年生のサポート、4年生は2・3年生のサポートをしながらの稲刈り体験です。最後は5年生、残った稲をあっという間に刈り取っていました。



小河原愛海さん
(5年生)

外で思いっきりできるのは、うれしいです！

自宅裏に田んぼがあって機械でやっていますが、たまに手伝っています。手で刈るのは大変だけど、みんなで食べることを考えると楽しみです！

去年に比べて上手に刈れるようになりました！

吉田小では6年生が1年生の稲刈りのサポートをするので、来年、1年生に教えるときに上手に教えられるようにがんばりたいです！



白石莉久くん
(5年生)



インタビュー ＊ ほ場提供の小谷孝司さん

「吉田地区は農村ですが、実際に田んぼでの手作業はやらないんですよ！」と小谷さん。

「でも子どもたちが、わずかな時間でも田植えや稲刈りを手作業で体験することで、大人になってどれだけの記憶に残るかわかりませんが、季節ごとの作業というものが学習につながり、田んぼを見た時に思い出してほしいと感じます。稲刈りで使ったパワーは、勉強にも使ってください！！そして吉田っ子フェスティバルと一緒に食べられることを楽しみにしています。」と話してくれました。

